

平成 29 年度 施策評価表

施策	0201	幼児教育の充実	施策推進担当部	こども未来部
施策の方針	認定こども園の設置や幼保小連携の強化、障がい児等の支援などに取り組み、子どもたちに質の高い幼児教育を行う。			

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 認定こども園数	園	7	9 9	9	9	10	11	100.0%	81.8%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、認定こども園は、平成27年4月から2か所増となったため、平成28年度に9園となった。
 今後も私立保育所等の認定こども園移行を支援するとともに、私立園については、平成31年度を目標に新たな認定こども園の整備を進めていく。

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	168,152	140,925	147,417	
	国庫支出金	29,535	16,012	18,345	
	県支出金	1,044	1,567	1,567	
	地方債	0	0	0	
	その他	5,835	13,528	12,617	
	一般財源	131,738	109,818	114,888	
	人件費	202,396	193,447	-	
	フルコスト	370,548	334,372	-	

施策の概要

020101	認定こども園設置の推進	保護者の働き方など家庭の状況に関わらず、すべての子どもたちに幼児教育・保育を一体的に提供するとともに、在宅子育て家庭に対する相談等の支援を行うため、地域の実情等を考慮し、引き続き認定こども園の設置を推進します。
020102	発達や学びの連続性を踏まえた幼保小連携の強化	幼稚園、保育所（園）、認定こども園及び小学校が、子どもの状況やそれぞれの教育目標、指導の内容などについて情報を適切に共有するなど、発達や学びの連続性を踏まえ、相互の連携を強化します。
020103	障がい児等特別な配慮を要する子どもへの支援	障がい児等特別な配慮を要する子どもにきめ細かに対応するため、特別支援教育コーディネーターや補助員の配置、個別の指導計画等の作成など、それぞれの子どもに配慮した支援体制の整備を推進します。

【CHECK (評価)】

<p>施策を達成 する上での 問題点・課 題</p>	<p>平成27年3月に策定した「おおむら子ども・子育て支援プラン」に基づき、大村幼稚園、西大村幼稚園及び三城保育所の認定こども園等への再編統合の方向性について検討を行う。 小学校就学時において学校生活にうまく適応できないといった状況、いわゆる「小1プロブレム」が生じており、幼稚園・保育所等と小学校との間において、学びの連続性を確保できるよう、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る必要がある。</p>
--	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の 改善・改革 や新規事業 についての 考え方</p>	<p>「おおむら子ども・子育て支援プラン」に基づき、大村幼稚園、西大村幼稚園及び三城保育所の認定こども園等への再編統合の方向性を検討するとともに、幼保小連携について引き続き取組を進める。</p>
--	---

平成30年度新規事業

	事業名 (仮称)	担当課	H30年度見込	対象・事業概要など
			事業費	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	

【評価調整委員会意見】

1	<p>施策推進担当部意見のとおり</p>	
<p>《特記事項》</p>		

【最終評価 (都市経営戦略会議)】

1	<p>評価調整委員会意見のとおり</p>	
<p>《特記事項》</p>		